

發行兼編輯人 川崎文治
印刷所 常磐毎日新聞社

常磐新聞

定額 一月五元 三月十三元 半年二十五元 一年五十元
廣告 第一行一日一元 第二行半日一元 第三行半日一元
印刷所 常磐毎日新聞社

刊夕日七月十

常磐文藝 少女 岸本哲雄

お前はなせ そんな寒そうな顔をして 凝つと見詰めてゐるのだ

お前の胸に動く 人形があるのだ お前はそれを 掴み出さうとしてゐるのか

一九四二、四

内科・外科・婦人科
デアテルミーX光
花柳病科胃腸腸科
松村病院
平町南町電話一〇七番

内科・外科・耳鼻
咽喉科。花柳病科
高久病院
平町田町電話五一三番

内科・外科・花柳病科
耳鼻咽喉科。婦人科
赤心堂病院
平町田町電話四七五番

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に読める

平町長崎町三五
川崎文庫
(市込次館規則書進呈)

社説

淺薄なる研究(十二)
川崎文治

右の貧弱な要求条件五ヶ條の如きは是れを一笑に附して居り去らぬ事か讀者諸彦として定めし齒がゆく感せられる事であらうが、意見書解剖のついでなるを以つて茲に少々批判的の立場から怒喝を浴せて置かう。即ち研究会は企業社の取入口に平上水道の水利権を認めせしめるやうであるが水利権の獲得及び承認は縣知事の許可に依つて始めて効力を發生するものであるから一電気會社をして認めしめ

た事が何等得る處のない事は三歳の童兒と雖も是れを知悉して居る筈である、次に水路の使用権を第三者に對抗せしむる件は對者が成立をも疑られて居る平電氣である事に依つて到底満足なる結果を見る事が出来ぬと同時に「平上水道の送水管に完全に送水し得る装置」等は寧ろ望む方が無理である従つて「水路水槽及び送水装置の補給維持」は何時壞れるか解らぬ會社の負擔に委して安心し得べきでない、最後の要求条件「平上水道増水工事費の内、若干金を寄附する事」は何んの意味か其腦裡を察す

山古印油

美味 經濟

元造讓

店本屋塩

番七二話電

平町二丁町電話園三番

渡邊藥局

平町三丁目 渡邊政五郎 (郵便局向)

今冬の流行品が 實用的で 經濟的

澤山揃ひました

ガクセイイ

一年生用 三八〇〇
二年生用 四二〇〇
三年生用 四四〇〇
四年生用 四六〇〇
五年生用 四八〇〇
六年生用 五〇〇〇
中學用 四六〇〇より

なにか洋服店 電話二〇三番

移轉廣告

前略當社は各位の御引立を蒙り日に月に發展致し候爲め從來の營業所にては不便尠からず依つて十月一日より左記へ移轉仕候間今後も倍舊の御援助願上候

平町南町郡役所前通り

東京恒産會社磐城支社

建築材料

一、磐城セメント 樽入 袋入
一、板 ガラス 各種
一、壁 用 材料 各種
一、ペン キ 塗 各種

セメント、板ガラス安價になりました、御照會を乞ふ

磐城セメント株式會社代理店 西村屋藥舖

平町二丁町電話園三番

株賣買中値

電話に金融致し

磐城銀行	五〇〇	五三〇
平銀行	五〇〇	六八〇
磐越銀行	一一五	一〇五
磐城實業	五〇〇	四二〇
磐城實業	三〇〇	二八〇
田村實業	一一五	一一五
四倉銀行	一七五	一七五
農工銀行	二〇〇	二四〇
同 新	一五〇	一八八
百七銀行	五〇〇	五五〇
同 新	一一五	一六〇
七七銀行	一一五	九八
郡山電氣	五〇〇	四〇〇
同 新	二五〇	一九〇
只見川電	一一五	七五
植田水電	一一五	一五五
好問水電	一一五	一三〇
磐城建物	一一五	一五〇
磐城製菓	二〇〇	二五〇
平信託	五〇〇	二五〇
磐城勸業	一一五	一三五
植田物産	三〇〇	二六〇
平製氷	二五〇	一八〇
好問軌道	五〇〇	三〇〇
入山新	三二五	一七〇
小田炭礦	二五〇	一五〇
磐城炭礦	五〇〇	四一〇
同 新	二二五	一八〇
磐城セメント	五〇〇	六二五
同 新	三三五	四二〇
平運送	一一五	八〇

僕が樂が記 (下)

鎌田町 生江徳明投

▽知事の坂平の坂が遮ぎりて小田には引かぬ町の水道

▽企てたおのが電氣に當られて暗いうしろに手のまはる人

十圓の事が曖昧である爲めに知るよしもない、此邊が餘程の眉唾ものと云ふべきである (續)

丸登株式店

平町田町 電話三三三番

川添房二郎

平町職業紹介所

二日付にて認可

平町職業紹介所は二日付を以て認可した旨の指定が本日町役場に到着したため早速所長に伏見助役、書記花澤文庫氏、書記心得松崎線氏を夫々任命し既に借り受けて置いた赤心堂向側の民家に看板を掛けられたが実際の業務を開始する迄には一兩日を要するであらうと因に求職者及び求人者が同紹介所にて受くべき登録は左の如くである

▲求職者、氏名、生年月日、現住所、本籍地及戸主との関係、保証人住所氏名、保証人との関係、當地在住日数、前雇主の住所氏名職業、前職務、前勤務時間、前給料、教育、技能経験、扶養家族配偶、失業日時、失業原因、希望条件、其他必要な事項

▲求人者、氏名、職業、住所、途筋、電話、屋敷雇入の条件

因に職業の紹介を受けんとする者は本人の出頭を要し求人は書面或ひは電話にて申込まれ度く平日は午前八時から午後四時迄、日曜は午前八時から正午迄事務を執るとの事で勿論手数料は徴しない由

愛谷江用水幹線改良

技師實地調査

平町外四ヶ村の水田約五百町歩の灌漑水路愛谷堰水利組合では用水排水幹線の改良

常磐片々

磐女庭球部惜敗を招いて郡山から歸る、出場した丈の勇氣で澤山、泣くな泣くな

農村疲弊し美田を賣る者多し、此不景氣に賣れ、ば未だ増し

ラサ島の胎風平町に影響、天候だけでは世界の平

桑苗の購入

郡當局の斡旋

石城郡農會にては本春の霜

江名沖合に鯉群が來遊

十萬尾を釣獲

石城郡江名濱沖合で五日來俄然大鯉群が來遊し廿五隻の鯉船は昨朝迄に四千尾内外合計約十萬尾を釣獲し一尾八十錢平均にて取引された

神靈の威徳を損すと

子秋倉の營繕

平町縣社子秋倉神社は多年懸案であつた社殿新築工事に着手すべく各氏子間を寄附金募集中であるが總工費五萬圓で其内譯は社殿幣殿並に神饌所等建設費三萬九千五百八十五圓、神樂殿並に石鳥居社務所等建設費一萬四千五百圓である

當社は延喜式内の古社として領主の崇敬からして廢藩後は平町の鎮守として縣社の社格を備へ神靈顯著なるに神域狹隘加ふるに社殿の威容之に比し發展隆昌を見るに比し神境莊嚴を欠如は眞に遺憾に耐えざる處於是乎曩に營繕計劃の豫算を編じ大方の寄附を仰ぎ既に一部

大戦によりて止むなく工事の繼續を中止するの狀態に陥らしめたり然れども住苗其儘に措かんか神靈の威徳を損じ且つは崇敬の道に欠くが如きは寔に恐懼の至りに堪へざるなり依つて總代人並に

父祖傳來の田畑 投資が次第に殖える

農村の中産階級が疲弊

石城郡役所にては先般來農家の經濟状態を調査中であるが農家の經濟は殆んど行詰りの狀を呈し今日では動きの乏しくなつて居るものが少なくない、殊に甚だしく苦められて居るのは

地主と小作人との中間に位する中産階級所謂自作農

是れ等は相當体裁も考へねばならずその他小作人階級のやうな簡素な生活になれて居ない結果疲弊困憊の最頂點に達して居るがこれ等階級の者は一日毎に暮し込み行く所から父祖傳來の美田を手放し一家を擧げて何處かへ

転住する様な傾向

各町世話人と兩三協議を凝らし左記の設計に基き須らく營繕工事の完成を期せんとす茲に大方敬神篤志諸彦の贊助を得て普く神明の懿徳を仰かんことを冀くは余等發起者の微衷を諒せられ應分の寄附あらんことを

玉川村の 前村長召換

架橋問題の 疑獄事件か

石城郡玉川村に疑獄事件惹起し本日平署に前村長鈴木常次郎、同村大字島區長若松千代治の兩氏外數名召喚取調中であるが事件の内容は島區内の架橋問題に關する事らしく取調への進行と共に擴大する模様である

不平受付

投書歡迎

新川町の下水工事 新川町阿部醫院前の下水工事は後始末が未だにつかぬ爲めか道路の土等は掘り起した儘である爲め雨上りの道は泥濘が甚だしく歩行に窮します町當局の一考を望む (注意生)

募集

文藝其他一般投稿を募集します

早やすぎれば二三度張り替へれば適當な時期に吸ひ出して決して痛みません

素人吸ひ出し薬

腫物などの膿汁を吸出すのに、ぞくに云ふ「赤まん」や午旁の種などを用ゐます、これが後が疵になつ

惜敗を招く

縣下庭球にて

磐城高等女學校から五日の縣下女子庭球大會に出場した各選手は何れも善戦し殊に第二回戦の小林横田組は強敵女師三浦小林組と對戦しジュース三回迄も續けたが遂に破れ第三回戦に出場するを得ず惜敗を見た、因に優勝カップは安積高女が獲得したと

昨日來の雨

小名濱測候所談

平地方昨日來の雨はラサ島に在る颱風が荒れ狂ふた爲め雨の止むのは颱風の動き次第によるのであるが今の處停滞して何れの方向に進路をとるか判明しないと小名濱測候所の談である

平町物價

品名	單位	價格
白米	二一升	四五〇
白米	二二升	四四〇
白米	二三升	四三〇
白米	二四升	四二〇
白米	二五升	四一〇
白米	二六升	四〇〇
白米	二七升	三九〇
白米	二八升	三八〇
白米	二九升	三七〇
白米	三〇升	三六〇
白米	三一升	三五〇
白米	三二升	三四〇
白米	三三升	三三〇
白米	三四升	三二〇
白米	三五升	三一〇
白米	三六升	三〇〇
白米	三七升	二九〇
白米	三八升	二八〇
白米	三九升	二七〇
白米	四〇升	二六〇
白米	四一升	二五〇
白米	四二升	二四〇
白米	四三升	二三〇
白米	四四升	二二〇
白米	四五升	二一〇
白米	四六升	二〇〇
白米	四七升	一九〇
白米	四八升	一八〇
白米	四九升	一七〇
白米	五〇升	一六〇
白米	五一升	一五〇
白米	五二升	一四〇
白米	五三升	一三〇
白米	五四升	一二〇
白米	五五升	一一〇
白米	五六升	一〇〇
白米	五七升	九〇
白米	五八升	八〇
白米	五九升	七〇
白米	六〇升	六〇

秋刀魚準備

好望を豫想

石城郡各濱では秋刀魚の漁期が近づいて來たので豊漁を見越し出漁準備中で鯉漁の不況を秋刀魚で挽回すべく意氣込んで居る昨年は震災の爲め大打撃を受け貨車

力作を陳列

平陽舊校舍に

警中×會主催繪畫展覽會は十二日より十四日迄平陽女學校舊校舍にて開催し洋畫家坂本孝正氏の作品油繪も卅餘點陳列する由

各濱の秋刀魚準備

好望を豫想

石城郡各濱では秋刀魚の漁期が近づいて來たので豊漁を見越し出漁準備中で鯉漁の不況を秋刀魚で挽回すべく意氣込んで居る昨年は震災の爲め大打撃を受け貨車

平町物價

品名	單位	價格
白米	二一升	四五〇
白米	二二升	四四〇
白米	二三升	四三〇
白米	二四升	四二〇
白米	二五升	四一〇
白米	二六升	四〇〇
白米	二七升	三九〇
白米	二八升	三八〇
白米	二九升	三七〇
白米	三〇升	三六〇
白米	三一升	三五〇
白米	三二升	三四〇
白米	三三升	三三〇
白米	三四升	三二〇
白米	三五升	三一〇
白米	三六升	三〇〇
白米	三七升	二九〇
白米	三八升	二八〇
白米	三九升	二七〇
白米	四〇升	二六〇
白米	四一升	二五〇
白米	四二升	二四〇
白米	四三升	二三〇
白米	四四升	二二〇
白米	四五升	二一〇
白米	四六升	二〇〇
白米	四七升	一九〇
白米	四八升	一八〇
白米	四九升	一七〇
白米	五〇升	一六〇
白米	五一升	一五〇
白米	五二升	一四〇
白米	五三升	一三〇
白米	五四升	一二〇
白米	五五升	一一〇
白米	五六升	一〇〇
白米	五七升	九〇
白米	五八升	八〇
白米	五九升	七〇
白米	六〇升	六〇

臺風の影響

昨日來の雨

平地方昨日來の雨はラサ島に在る颱風が荒れ狂ふた爲め雨の止むのは颱風の動き次第によるのであるが今の處停滞して何れの方向に進路をとるか判明しないと小名濱測候所の談である

平町人事

出生

△白銀町 富田幸兵二女後子

△長橋町 市島福子(一)

死亡

△長橋町 市島福子(一)